平成２９年度第1回内灘町地下水採取規制審議会　議事録

日　　時　　平成２９年６月２２日（木）　午後２時から

場　　所　　内灘町役場　４階　４０８会議室

出 席 者　　・委　員　高野委員、中谷委員、北川委員、松岡委員、坪内委員

川辺委員、亀田委員、一枚田委員、井上委員　計９名

・事務局　上島町民福祉部長、本環境安全課長、川本課長補佐、甲野主事、幸田嘱託員　計５名

・コンサルタント　㈱利水社　林氏、古木氏、濱田氏

欠 席 者　　高橋委員

１．開　　　　会

２．委嘱状の交付

３．議　　　　件

（１）井戸設置許可申請に係る諮問事項

事務局より以下の内容について説明

　・内灘町地下水採取の規制に関する条例についての説明

・井戸設置許可申請について

・地下水シミュレーションモデル（井戸掘削に伴う影響予測評価）

について

会　長　　資料２の４ページに「※予測結果の数値のマイナス表記は回復を表す」と書いてあるが、揚水コスト等についての話であり、塩水化項目の予測結果についてマイナス表記は回復を表すものではないのか。

事務局　　塩水化については、回復を表すものではない。

会　長　　塩水化は回復することはないのか。

事務局　　一旦塩水化が進むとおそらく回復は難しいと思われる。

委　員　　付帯条件について月別揚水量の報告は年1回か月に1回か。

事務局　　塩化物イオン濃度については、年1回。最大揚水月に測定し報告してもらう。水位測定については使用月1回。

委　員　　節水対策とは具体的には何をするのか。

事務局　　例えば、使用時間の短縮をお願いする。申請には連続使用となっているが、積雪量に応じてできるだけ短縮し使用してもらう。

会　長　　北國銀行前の県道の消雪に使用している井戸には影響はないのか。

事務局　　１６番の向粟崎公民館駐車場の向粟崎１丁目消雪井から取水しているので、影響は少ないと思われる。

会　長　　第二帯水層と第三帯水層で評価に差があるが、影響の少ない第二帯水層から多く採取することは可能か。

利水社　　ストレーナーの位置が固定されており、第二帯水層から多くとることはできない。

委　員　　施設が建ってからもう何年も経つが今回何故消雪が必要なのか。

事務局　　施設の建て換えに伴い、駐車場の拡大が計画されている。そのため今使用している５８番の井戸では水量不足のため、５８番は廃井し、新たに深い井戸で消雪をしたいと聞いている。

会　長　　それでは、条件付きの許可とすることに異議ございませんか。

委　員　　異議なし。

　（２）その他

　　　事務局より以下の内容について説明

　　　　・平成２８年度地下水位等観測調査結果について

委　員　　農業用井戸No．７７の塩化物イオン濃度が高かったのが平成２７年に低くなっているが、何か対処をしたのか。

事務局　　以前、近くにあった旧大根布畑井と旧福祉センター坂の井戸については、塩化物イオン濃度が高い状態が続き廃井した。その影響がある可能性がある。

会　長　　旧大根布畑井と旧福祉センター坂の井戸はどのくらいの深さで、どの帯水層から取っているのか

事務局　　深さは分からないが第一・第二帯水層からの取水だった。

会　長　　地下水の管理の為にも、井戸の把握と管理を今後もお願いしたい。

　　　　・地下水シミュレーション更新業務について

事務局　　現在の地下水のシミュレーションについては、平成２１年度に更新したプログラミングしたものを使用している。平成２９年度補正予算で新しく地下水シミュレーションモデルを構築する予定である。

会　長　　皆さん、他にご質問等はございませんか。

ないようなので、これにて閉会する。

閉会時刻　午後３時